

- 1 名称 第38回全国健康福祉祭埼玉大会
2 愛称 ねんりんピック彩の国さいたま2026
3 主催 厚生労働省、埼玉県、さいたま市、一般財団法人長寿社会開発センター
4 共済 スポーツ庁
5 大会名 ふれあいスポーツ交流大会空手道競技

開催要項 (案)

- 6 開催都市 朝霞市
7 主管 一般社団法人埼玉県空手道連盟
8 日程 令和8年11月 8日(日) 競技1日目
令和8年11月 9日(月) 競技2日目
9 会場 朝霞市立総合体育館 〒351-0007 埼玉県朝霞市大字岡1404-11
10 種別 種目及び参加人員(年齢は令和8年4月1日現在のもの)
男子 組手1部(60歳~64歳) 形1部(60歳~64歳)
組手2部(65歳~69歳) 形2部(65歳~69歳)
組手3部(70歳~74歳) 形3部(70歳~74歳)
組手4部(75歳~79歳) 形4部(75~歳以上)
組手5部(80歳以上)
女子 組手1部(60歳~64歳) 形1部(60歳~64歳)
組手2部(65歳~69歳) 形2部(65歳~69歳)
組手3部(70歳~74歳) 形3部(70歳~74歳)
組手4部(75歳~79歳) 形4部(75~歳以上)
組手5部(80歳以上)

※各都道府県・各政令指定都市からの参加選手は、延べ男子 名以内、女子 名以内とする。

※東京都からの参加選手は、男子 名以内、女子 名以内とする。

※埼玉県・さいたま市からの参加選手は、男子 名以内、女子 名以内とする。

- 11 参加資格 (公財)全日本空手道連盟会員登録者で、かつ公認級位または公認段位の所持者であり、下記に該当する者

- (1) 令和8年(2026)4月1日現在で、前記「10.種目」に該当する年齢のもの。
- (2) 都道府県空手道連盟及び政令指定都市空手道連盟の選出を受けた者。
- (3) 監督については各都道府県及び各政令指定都市より1名とする。
- (4) コーチについては各都道府県及び各政令指定都市より2名とする。
- (5) 監督については、(公財)全日本空手道連盟公認全国組手審判員資格もしくは地区組手審判員資格と(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ1~4のいずれかの資格を有する者。
- (6) 選手は、監督を兼ねることができる。
- (7) 監督、選手を兼ねている者が出場する場合、その競技のみの臨時の監督を1名当該都道府県及び政令指定都市から出すことが出来る。但し、上記(5)の資格を有するものとし、事前に競技委員長に別紙申請書により申し出る義務を有する。(臨時監督のIDは用意しない)

12 競技上の規定及び方法

競技は、公益財団法人全日本空手道連盟競技規定に基づき行う。

また、競技方法は次の通りとする。

(1) 男子組手個人戦、女子組手個人戦

- ① トーナメント方式とする。
- ② 3位決定戦は行わない。
- ③ 競技時間はフルタイム2分とする。(1分30秒) 検討必要
- ④ 勝負は6ポイント差とする。
- ⑤ 競技時間終了時にポイントの多い選手
- ⑥ 同点の場合は先にポイントを取った選手

(2) 男子形個人戦、女子形個人戦

- ① ラウンド制プール方式とする。(得点方式で実施する)
- ② 敗者復活戦は行わない。
- ③ 第1ラウンドは、形競技規定に定める基本形・第1指定形・第2指定形の中から選ばなければならない。
- ④ 第2ラウンドは、形競技規定に定める基本形・第1指定形・第2指定形の中から選ばなければならない。
- ⑤ 第3ラウンド以降は、形競技規定に定める得意形(基本形含む)の中から選ばなければならない。
- ⑥ 選手は、各ラウンドごとに異なる形を演じなければならない。

(注意) 形名については競技規定に定める通りとする。

(3) 審判員は、参加する各都道府県及び各政令指定都市より1名以上の派遣とする。

- ① 派遣する審判員資格は、公認全国組手審判員資格及び全国形審判員資格または地区形審判員資格保有者とする。
- ② 派遣する審判員の旅費、交通費等については主催者側で負担しない。

13 表彰

(1) 各種目(部)の第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品を授与する。

(2) 各種目(部)の第1位から第8位までの者に、それぞれ賞状を授与する。

14 参加料

- (1) 1人1,000円
- (2) 納入後の参加料は返金しない。
- (3) 地震・風水被害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

14 参加申込方法

- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県空手道連盟または政令指定都市空手道連盟より申込む。
- (2) 都道府県空手道連盟または政令指定都市空手道連盟は、参加資格、種目年齢の規定に従い、所定の申込用紙を作成し申込むこと。
- (3) 参加申込締切後の選手の交代は認めない。
- (4) 参加料は都道府県空手道連盟・政令指定都市空手道連盟が取りまとめて、参加申込と同時に納入する事。
- (5) 参加申込期限、 令和8年 月 日

15 参加上の注意

- (1) 形・組手競技とも選手は、全日本空手道連盟認定の青・赤帯を着用するものとする。
(帯は各自で用意すること。主催者側では用意しない)
- (2) 組手競技では、危険防止のため、全日本空手道連盟認定の安全具を使用すること。(各自で用意すること。)
 - ① ニューメンホー(VII以上)
 - ② 拳サポーター〔青・赤〕
 - ③ ボディープロテクター
 - ④ セーフティーカップ(女子は除く)
 - ⑤ インステップガード・シンガード〔青・赤〕

- (3) 選手の服装は、開会式、競技中、表彰式とも空手着とするが、監督・コーチは全日本空手道連盟認定ジャージとする。なお、監督・コーチIDは主催者が用意する。
- (4) 選手は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (5) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
(大会当日の医療行為は応急処置のみとなる。)
- (6) 選手は、健康保険証を持参すること。
- (7) 選手は、各自で傷害保険等の保険に加入すること。
- (8) 緊急時対応のため、各チームの監督は全参加選者の緊急連絡先を把握しておくこと。
- (9) 薬を常時服用している場合は、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携行する。
- (10) 胸マークは各都道府県名・各政令指定都市名を表記した下記規格のものを左胸に固く縫着する。
 - ①サイズ、縦20cm×横10cm以内とする。
 - ②文字は、楷書体・黒色・縦書きとする。
- (11) ゼッケンを道着の背部に縫着すること。（全周縫いとする）
(ゼッケンは主催者で作成し、10月中旬頃に各都道府県空手道連盟・各政令指定都市空手道連盟に送付する。)

16 宿泊・交通申込について

- (1) ねりんピック宿泊要項を確認の上、所定の申し込みをすること。

17 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時/令和8年 月 日 () 14:00～

会 場/未定

(2) 審判会議

日 時/令和8年 11月 7日 (土) 16:00～16:30

会 場/朝霞市民会館 会議室201

〒351-0011 埼玉県朝霞市本町1丁目26-1 TEL048-466-2525

(3) 監督会議

日 時/令和8年 11月 7日 (土) 16:30～17:00

会 場/朝霞市民会館 会議室201

〒351-0011 埼玉県朝霞市本町1丁目26-1 TEL048-466-2525